

羽生市議会議員 動かせ羽生！ゼロからの挑戦！

中島 なおき 無所属 37 歳



BLOG 「ゼロからの挑戦日記。」 ほとんど毎日更新中！

中島なおき

検索



3 年ぶりの自転車街宣
体力の衰えを痛感…。(笑)



村君小・サケの放流集会に参加



県内若手議員、首長との連携
和光市長の講和会に参加



3 月議会の準備
400 人の職員を相手に奮闘



羽生駅東口にて
TBSの取材を受けました



本人もびっくり…。
テレビにできました！

今の仕組みを「存続か・廃止か」と言ったら
私は「廃止」です



本庄市長・市議会議員選挙
勝ちもあれば負けもある…。

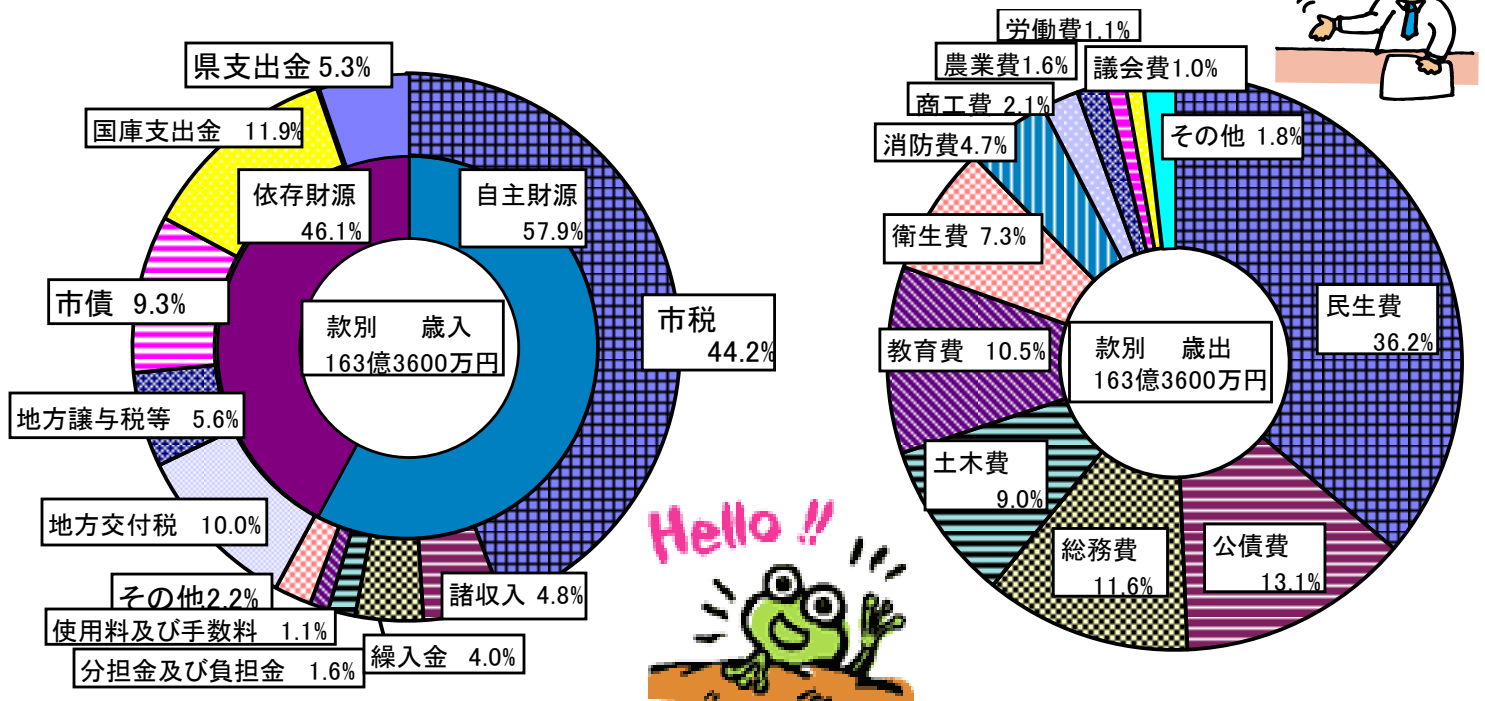
TBS 「総力報道！ THE NEWS」に堂々登場！

1/27(水)、来年度にも破綻するといわれている「市議会議員年金」をテーマにTBSテレビの取材を受け、その様子が2/9(火)18:40 からの「総力報道！ THE NEWS」で放送されました。そして、市議会議員年金制度の廃止を訴える地方議会議員(市区町村)の代表としての私の発言が全国で大きな反響を呼びました。羽生市議の発言がテレビで大きく取り上げられたのは初めてのこともかもしれません。これからも今までと変わりなく、マスコミに対しては適宜対応をさせていただきますが、決してパフォーマンスは行いません。真面目に直向きに議員活動、政治活動を続けます。
(番組をご覧になられてない方、DVDをお貸しします。ご一報ください。)

平成 22 年度羽生市一般会計予算 163 億 3,600 万円で可決！

2/24 から3/23 までの 28 日間の会期で平成 21 年度 3 月定例市議会が開かれました。上程議案のメインはなんと言っても来年度一般会計の予算案です。上記のとおり 163 億 3,600 万円の予算案(前年度比 6.9%増)が賛成多数(賛成 12:反対2 病欠1)で可決されました。景気後退による税収減の中、前年度に比べ予算額が大きくなった理由は、言うまでもなく新政権のもとで示された「子ども手当」(7 億 2,540 万円)の支給です。また、経済情勢の悪化のもとで「生活保護費」の増額、医療、介護費用の増額に伴う特別会計への繰り出し、障がい者支援費の増額がその他の要因です。これらを除くと、昨年、一昨年とほぼ同等の予算額であり、6.9%の増額分のそのほとんどが民生費といえます。今後、さらに進む少子高齢化や福祉ニーズの多様化のもと、年々膨れ上がる民生費の抑制がひとつの市政の大きな課題となっています。

一般会計予算歳入・歳出構成比



平成 22 年度の羽生市の目立った新事業は以下のとおりです。

- ・市民意識調査の実施
- ・社会科副読本「はにゅう」の見直し
- ・第 2 浄水場中央監視設備の整備
- ・着ぐるみサミットin羽生
- ・岩瀬小学校校舎大規模改造
- ・ソーラーパネル設置費の助成
- ・洪水ハザードマップの作成
- ・手子林小学校校庭整備事業
- ・下水道事業計画の見直し
- ・公共施設の耐震診断
- ・南中学校校舎大規模改造工事実施設計
- ・愛情(藍城)弁当の開発
- ・児童手当・子ども手当の支給
- ・プロ野球 OB 会野球教室
- ・R125 アンダーパス冠水通報システムの整備
- ・保育所給食業務の委託
- ・プロサッカーリーグ少年サッカー教室
- ・公共マス確認及び加入促進の実施
- ・障がい者支援センターの設置
- ・プレミアム付商品券発行事業に対する支援
- ・着ぐるみ追加制作 などなど

4 月 1 日から「羽生市まちづくり自治基本条例」が施行

この条例は、自治の基本理念や市政運営の基本原則、市民の権利・責務などを定め、地方自治のあり方や枠組みを規定しており、羽生市の憲法(最高規範)となるものです。策定委員会などで多くの市民の皆さんにご協力をいただきました。内容については 3 月の回覧板にて各御家庭に配布されていると思いますので、ぜひともご確認ください。今後、常にこの条例を意識、遵守して議員活動を行ってまいります。なお、第 4 章「議会の権限及び責務」に関しては、内容がまだまだ不十分であるため、平成 22 年度末を目途に、羽生市議会自らで「高い倫理規範」を策定する予定になっています。

3月議会 中島なおき(直樹)の11回目の一般質問

一般質問では、疑問、確認、提案など、羽生市政に関連することであればどのような内容でも議場壇上にて発言し、羽生市行政から答弁を求めることができます。議会での一般質問は市議会議員にしか認められていません。私は単なる質問にとどまらず、議員としての提言の場ととらえています。議員でありながら定例会において一般質問をしないというのは、私は議員の仕事を放棄しているものと理解をしています。

Q・1 小規模特認校制度の導入について

特色のある小学校教育環境の構築と過疎地域の活性化を図るため、全児童 70 余名の村君小学校において小規模特認校制度を導入してはどうか？

小規模特認校制度とは？・・・通常の学区と異なり、小人数校の通学区域を広げて児童の募集を行う制度

A. (学校教育部長) 村君地区の皆さんと協議を行い、検討していきたい。

中島の視点 少子化が進む昨今において、村君小学校では来年度から2,3学年が複式学級となります。複式学級については決してマイナスの面ばかりではないということは理解していますが、村君小学校においては、このまま児童数が減り続けると統廃合を視野に入れなければならなくなってしまいます。小学校は教育の場だけではなく、親子3代にわたる地域コミュニティの拠点であり、その拠点がなくなってしまうということは地域にとって大きな損失です。教育委員会で定める村君地区の通学区をなくすことができれば、豊かな自然環境と小学校の少人数学級という特色のある教育環境を羽生市全域に広げることができ、また、地域の活性化にもつながると考えました。部長答弁でもありましたが、地区と学校の状況を見据え、十分な協議の必要性があります。ちなみに村君小学校は今後5年間は複式学級となりますが、その後は単式学級に戻ると見込まれています。

Q・2 課税標識 (ナンバープレート) の変更について

羽生市の知名度アップを図るため、松山市をはじめとする全国 20 以上の自治体で発行している異型ナンバープレートの作成を検討してみてもどうか？

A. (企画財務部長) 現行のプレートの在庫状況を見極めつつ、今後調査研究をしていきたい。

中島の視点 125cc以下のバイクなどのナンバープレートは、その形状に規定がありません。見づらくなければよいとされています。羽生市には東北道のインターチェンジがあること、イオンに大勢の人々が訪れることを考えれば、羽生の



松山市 HP より

の広告塔になるものと考えました。埼玉県ではまだ実例がなく、2 番煎じでは意味がありません。羽生市では 11 月下旬に埼玉県と連携して「着ぐるみサミット」が行われ、全国からゆるキャラが集まる予定になっています。(ひこにゃんも参加予定) それこそ羽生のPRになるはずですが、200 万円以下という少ない予算で導入できるにもかかわらず、答弁は非常に消極的でした。質問に対するヒヤリングの際には「在庫を含め、保管場所がない・・・。」という消極さを極める発言が行政からありました。消極的にならざるを得ない特別な事情があるのだろうか？と勘ぐりたくなるほどです。攻める方向を変え、次の議会でも関連する質問をしたいと思っています。羽生市を走る原付バイクのナンバープレートの形状が「ムジナもん」をモチーフにしたものだったり、表記が単なる「羽生市」ではなく「藍のまち はにゅう」というナンバープレートをつけたバイクがまちを行きかう様子を想像してみてください。実に夢があると思います。また郷土愛を育むという効果も十分に期待できるとしています。

紙面の都合で大幅に割愛しての掲載です。正確なものは 3 ヶ月遅れで発行される羽生市議会会議録、また羽生市議会ホームページ、ブログ「羽生市議会議員 1 番中島直樹の議会発言録」でご確認ください。

任期も残すところ1年となりました。私の活動、発言への更なる監視強化をお願いします。

あの衝撃的な選挙から丸4年...

羽生市長選挙 5/23(日)に決定!

河田市長の任期も残りわずかとなりました。月日が経つのは早いもので、あの衝撃的な選挙から4年が経過しようとしています。羽生市長選挙の告示は5/16(土)、投開票は上記のとおり5/23(日)に決まりました。昨年12月議会において河田市長は2期目の出馬表明をしておりますが、現在のところその他の動きは見られないようです。これまでの羽生市と同じように現職市長の2期目、3期目は無投票当選になってしまうのでしょうか??? 岩瀬区画整理事業の見直し、清掃センターの老朽化、病院の移転問題など市政にまつわる課題が山積しているからこそ、無投票ではない選挙の必要性を誰よりも強く感じています。



自治体において首長の権限は絶大です。羽生の将来について考えましょう!

そして、来年4月は羽生市議会議員選挙です。

【中島なおき(直樹)プロフィール】

- 昭和47年11月鴻巣市にて会社員の父と洋裁職人の母より生誕
- 埼玉栄高校普通科、日本福祉教育専門学校社会教育学科卒業
- 日本大学法学部政治経済学科卒業(通信制)
- 専門学校卒業後、茅ヶ崎市内の児童福祉施設勤務を経て、鴻巣市社会福祉協議会職員となる
- 30歳 専修大学藤本一美教授主宰の千代田政治経済研究会に参加

白土春日部市議 菅原戸田市議 大桑横浜市議らの政治に対する情熱に強い衝撃を受ける。

懇親会の際、笑いながら中東問題、外交問題、歴史教科書問題などの議論している姿を

目の当たりにしたときそれまで自分が過ごしてきた環境との違いに驚愕。

- 33歳 白土幸仁春日部市議 松本武洋和光市長ら主宰の「若手政治家養成塾」へ入塾

埼玉県内外から集まった若手地方議員や熱い思いを持った塾生たちとの出会いにより

持続可能な世の中の構築、共生社会の実現のため自らが政治の世界に飛び込むことを決意。

- 平成18年12月 羽生市政に挑戦するため社会福祉協議会を覚悟と決意の退職

- 平成19年4月 正真正銘「地盤 看板 カバンなし」から羽生市議会議員選挙に

単身挑み 1,473 票を賜り最年少当選 現在、羽生市議会にて日々奮闘中!

- 所属: 青年地方議員の会会員 日本よい国構想研究会会員

- 趣味: 釣り 読書 家庭菜園 陶芸も少し

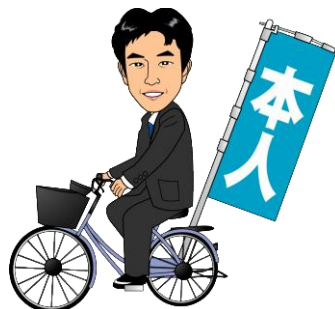
- 特技: ギター弾き語り(ミュージシャンを夢見たことも...)

バスケットボール ハンドボール

- 家族: 保育士の妻 かわいい長女8歳 泣き虫の次女5歳

- 身長 184 センチ 体重 77 キロくらい 血液型 A 型 さそり座

プロフィールをご覧になって何か興味がわく事がありましたら、ぜひとも「中島なおき」をぜひご活用ください。ご連絡をお待ちしています。



ご意見・ご感想大募集

皆さんの声を直接市政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく、建設的なご意見、提案などもぜひお聞かせください。

【中島直樹事務所】〒348-0071 羽生市南羽生4-17-2 ☎ 048-578-8612 Fax 048-562-4231

✉ : nakajima-na_0614@ric.hi-ho.ne.jp (匿名、無件名のメールには返信できません。)